

分科会テーマ・実践発表例

分科会	テーマ	実践発表【例】
第1分科会	介護・福祉人材づくり ～ニーズを支える (採用・育成・定着・活用)～	<ul style="list-style-type: none"> ◆介護福祉人材・プロフェッショナル人材の育成 ◆研修・キャリアパス制度の構築、展開 ◆外国人材の取り組み ◆アクティブシニア等、業務分担・タスクシフティングの取り組み ◆働き方の改善 ◆広報戦略 など
第2分科会	変化に対応した 経営・組織マネジメント ～地域の介護・福祉を支える～	<ul style="list-style-type: none"> ◆組織マネジメント改革 ◆経営システムの改善 ◆情報共有・連携の改善 ◆生産性の向上、働き方の改善 ◆リスクマネジメント活動(感染症・災害) ◆地域との連携 など
第3分科会	“最期の一瞬まで、 自分らしく”を支えるケアⅠ ～利用者の生活を支える～	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用者と共に作る生活プラン ◆認知症、重度化にも対応した個別ケア ◆看取りケア、アドバンスケアプランニング ◆医療・介護連携の取り組み ◆予防、健康づくりの取り組み など
第4分科会	“最期の一瞬まで、 自分らしく”を支えるケアⅡ ～暮らしを支える～	<ul style="list-style-type: none"> ◆介護生活環境の向上 ◆活動、社会参加への支援 ◆高齢者の交流、通いの場づくり ◆地域の介護予防、健康づくり、健康寿命延伸 ◆地域・自宅での暮らしを支える在宅サービス など
第5分科会	“最期の一瞬まで、 自分らしく”を支えるケアⅢ ～地域社会を支える～	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の福祉基盤としてのコミュニティづくり、共生社会づくり ◆地域とのつながり、地域マネジメント、まちづくり ◆ワンストップ支援への取り組み ◆地域福祉活動への取り組み ◆感染症・災害対策への取り組み など
第6分科会	“最期の一瞬まで、 自分らしく”を支えるケアⅣ ～養護・軽費・ケアハウス～	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域での暮らしを支える養護老人ホーム・軽費老人ホーム・ケアハウス
第7分科会	ICT・ロボット・機器(器具)・ AIを活用したケアの実践・展開 ～介護現場を支える～	<ul style="list-style-type: none"> ◆生産性の向上、負担軽減への取り組み ◆介護現場の業務革新、最先端の職場づくり ◆データによるケアの最適化、トータルケアの取り組み ◆デジタル化への取り組み など

大会事務局

三重県老人福祉施設協会

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館内
TEL: 059-221-2240 FAX: 059-221-2241
E-mail: mieroushikyo@iris.ocn.ne.jp

令和3年度
東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会
— 三重 “オンライン” 大会 —
開催要項

テーマ

「最期の一瞬まで、自分らしく生きられる社会へ」
～予防から看取りまで、その人らしさを輝かせる
高齢者介護・福祉の実現に向かって～

全体会
分科会

9月13日(月)～18日(土)

※上記期間中は、全ての動画を何度でもご視聴いただくことができます。
(オンデマンド形式)



主催 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 後援 三重県(予定)
東海北陸ブロック老人福祉施設協議会
三重県老人福祉施設協会
社会福祉法人三重県社会福祉協議会

三重大会趣旨

本研究大会は、本来なら昨年7月に、三重県四日市市において実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症により、延期させて頂きました。

本年度、関係の皆様と改めて開催に向けた検討を繰り返し行ってきましたが、感染症の収束はまだまだ見通せない状況であり、集合しての開催は困難であると判断し、本研究大会はオンラインによる大会として実施することとなりました。

本研究大会のテーマは、公益社団法人全国老人福祉施設協議会が老施協ビジョン2035に掲げた「最期の一瞬まで、自分らしく生きられる社会へ」です。

コロナ禍で、人々の生活は一変しましたが、私たちはこれまでの知見を生かして克服し、そして、介護現場でのケアの取り組みを進化させていくことが求められています。

このような状況の中で、私たちは、その人らしさを輝かせる高齢者介護・福祉の実現に向けて、社会構造の変化に見合った介護・福祉のあるべき姿や展望を考え、そして新たなチャレンジをしていく必要があります。

本研究大会では東海北陸6県1市の介護・福祉事業所が、各地域や介護現場において日々積み重ねてきた先進的研究事例、成果の報告及び共有を通じて、将来を見据えた施設経営・運営のあり方や今後の地域を支える質の高いサービスの提供につなげていくことを目指し、より一層の資質向上を図ることを目的として開催いたします。

多くの施設・事業所のご参加をお願いいたします。

■参加数 予定数 800施設・事業所

- (1) 老人福祉施設・事業所の役職員
- (2) 老人福祉施設事業に関わる行政・社会福祉協議会の役職員
- (3) その他、老人福祉に関係ある者

■参加費 (1) 1施設・事業所につき 8,000円

(2) 原則として納入された参加費は返還しないものとします。

※1つのお申込みに対して、1つの視聴アカウントを発行します。

同時に複数の端末から視聴することはできません。複数の端末から同時に視聴する場合は、複数の施設・事業所の参加申込が必要です。(申込数分の費用が必要となります。)

■申込先 別紙「参加ご案内」に掲載されている、大会特設サイトにアクセスし、ホームページより参加登録を行って下さい。

Webでの登録が困難な場合、各施設から直接「名鉄観光サービス株式会社 津支店」にご連絡頂き、参加申込を行って下さい。

■申込締め切り 令和3年8月20日(金)

大会プログラム

プログラム	内容	備考
挨拶	全国老施協、大会長	45分
基調報告	全国老施協	
情勢報告	全国老施協 常任理事 そのだ修光	30分
講演	「いざという時、本当に役立つBCPを考える ～職員や利用者の命と尊厳を守るために～」 かぎやはじめ 氏	60分
分科会	7分科会(各6題 計42題)	15分/題
次期大会長挨拶	富山県老人福祉施設協議会	10分

講演

演題：「いざという時、本当に役立つBCPを考える ～職員や利用者の命と尊厳を守るために～」

講師：かぎやはじめ 氏

跡見学園女子大学 教授、一般社団法人福祉防災コミュニティ協会代表理事



〈プロフィール〉

1956年 秋田県男鹿市生れ。早稲田大学法学部卒業後、板橋区役所入区
2000年 法政大学大学院政治学専攻修士課程修了
防災課長、板橋福祉事務所長、契約管財課長、地域振興課長、福祉部長、危機管理担当部長(兼務)、議会事務局長を経て2015年3月退職
2015年3月 京都大学博士(情報学)
2015年4月 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科教授、法政大学大学院兼任講師、名古屋大学大学院兼任講師

○内閣官房「人・コミュニティ・地域のレジリエンス向上のための研究会」座長、内閣府「令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難に関するサブワーキンググループ」座長、「防災スペシャリスト養成企画検討会」委員、「TEAM防災ジャパンアドバイザー」等、経済産業省「令和2年度地域におけるキャッシュレス導入支援事業(災害時のキャッシュレス決済実証・調査事業)検討会」座長、国土交通省・厚生労働省「高齢者施設の避難確保検討会」座長等

○内閣府地域活性化伝道師、(一社)福祉防災コミュニティ協会代表理事、NPO法人東京いのちのポータルサイト副理事長、(一社)マンションライフ継続支援協会副理事長、(一社)防災教育普及協会理事、認定NPO法人災害福祉広域支援ネットワークサンダーバード理事、板橋区卓球連盟副会長など

○著書『図解よくわかる自治体の地域防災・危機管理のしくみ』『地域防災力強化宣言』『ひな型でつくる福祉防災計画』(編著)『災害発生時における自治体組織と人のマネジメント』(共著)など